

ホーボー・ウィズ・ショットガン (2011)

HOBO WITH A SHOTGUN

メディア 映画
ジャンル アクション サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 86分
初公開日 2011/11/26
公開情報 ショウゲート
映倫 R18+

【解説】
本編中に挿入されるフェイク予告編も話題となったクエンティン・タランティーノ監督とロバート・ロドリゲス監督による二本立て映画「グラインドハウス」。本作は、その公開記念として開催されたフェイク予告編コンテストでグランプリに輝いた作品を1本の映画として長編化したバイオレンス・アクション。「ブレードランナー」「ヒッチャー」のルトガー・ハウアーを主演に迎え、流れ者の中年オヤジが街の無法者たちを相手に容赦なく制裁を加えていくさまを壮絶な残酷描写満載で描き出す。監督はこれが長編デビューのジェイソン・アイズナー。
町から町へと流浪する、くたびれた初老の男“ホーボー”。彼がやって来たのは犯罪組織のボス、ドレイクが牛耳る暴力に支配された町ホーブタウン。ドレイクの息子たちスリックとイヴァンが残虐な殺戮を繰り返しても、住民はおろか警察すらも見て見ぬふり。ホーボーも娼婦アビーを助けたばかりに痛い目に遭ってしまい、以後はよけいなことはせず静かに暮らしていた。そんなある日、質屋で強盗現場に出くわしたホーボーは反射的にショットガンを手にするや強盗を始末する。これで目を覚ましたホーボーは、以来町のクズどもを次々と血祭りに上げていく。やがてそれは、ドレイク一族との凄惨な全面対決へと発展していくが…。

【クレジット】			
監督	ジェイソン・アイズナー	Jason Eisener	
製作	ロブ・コッテリル	Rob Cotterill	
	ニヴ・フィッチマン	Niv Fichman	
	フランク・シラキューサ	Frank Siracusa	
	ジョン・デイヴィース	John Davies	
脚本	カリム・ハッセン	Karim Hussain	
撮影	ユエン・ディクソン	Ewen Dickson	
プロダクションデザイン	セーラ・ダンズワース	Sarah Dunsworth	
衣装デザイン	ジェイソン・アイズナー	Jason Eisener	
編集	ダリウス・ホルバート	Darius Holbert	
音楽	アダム・T・バーク	Adam T. Burke	
	ラス・ハワード三世	Russ Howard III	
	ルトガー・ハウアー	Rutger Hauer	“ホーボー”
	グレゴリー・スミス	Gregory Smith	スリック
	モリー・ダンズワース	Molly Dunsworth	アビー
	ブライアン・ダウニー	Brian Downey	ドレイク
	ニック・ベイトマン	Nick Bateman	イヴァン

